

事業所名

MIRAI KODOU

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

2月

28日

法人(事業所)理念		我々は「預かり場所」ではなく「よくなる場所」の実現を目指し、重症心身障がい児を対象にした放課後等デイサービスを全国に拡大し、より多くの障がい児たちに洗練された質の高い「ハビリテーション」を提供し「彼らの生活レベル」、「活動レベル」、「人生レベル」に貢献することを基本目的とする。					
支援方針		事業所は、障害児が生活能力向上のため必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、保護者の意向、障害児の特性、障害の特性、障害児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境などの事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づき適切かつ効果的な指導及び訓練を提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施することとその他の措置を講ずることにより障害児に対して適切かつ効果的に指定児童発達支援・放課後等デイサービス・居宅訪問型児童発達支援・保育所等訪問支援を提供する。					
営業時間		9時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	バイタルサインのチェック及び全身状態の把握を行い、異常の早期発見・対応を行い健康状態の維持、向上を目指して支援を行います。児が安全安楽に利用ができるよう、障害の特性や発達の過程・特性を考慮しきめ細かな観察・対応を行います。ご家庭で行っている医療的ケアを安全に実施します。基本的な生活習慣の習得や生活リズムの形成ができるよう支援を行います。					
	運動・感覚	身体を動かす能力を最大限に引き出せる様、リハビリや運動を通して支援を行っていきます。身体機能面の評価を行う事で一人一人に合わせたプログラムを立案し、成長できる面を最大限に引き出していきます。また五感を活用したイベントやレクリエーションを取り入れ、楽しく参加できる運動を提供することで集団活動を促し、コミュニケーション能力を高めていきます。					
	認知・行動	四季折々にちなんだ行事やイベント、外出等を通して、雰囲気や味わい季節を感じられるような支援を行っていきます。児の興味のあるものを探り、快を感じられるものや自発的に体験し達成感が味わえるような取り組みを行っていきます。感覚遊びや聴覚、視覚などを通して、認知機能の発達を促します。					
	言語 コミュニケーション	家庭や学校との連携を図り、個々の児に合った言葉、もしくは絵カード、ジェスチャーなどを用いて相互理解を図っていきます。児が思いを表出しやすい関係作りに努め、児の気持ちを汲み取り、共有・共感することに心がけ、児のコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。					
	人間関係 社会性	スキンシップや遊び等を通して、アタッチメントの形成を図り情緒が安定することで安心して過ごせるように支援していきます。児の特性に応じた遊びを通して社会性を育みます。一人遊びから小集団での遊びに参加できるよう支援します。また地域や社会の活動に参加できるよう支援します。					
家族支援		ご利用中の様子はWEBにアップし、児の活動の様子の情報共有を行ってまいります。適宜、ご家族の思いを傾聴し子育ての不安の軽減をはかれるよう支援してまいります。適宜、児の健康上の問題や成長発達に合わせた助言を行ってまいります。活用できる社会資源の情報提供も行い、ご家族のもつ育児負担の軽減に努めています。			移行支援	可能な限り、地域の保育園、小学校に移行できるよう支援を行ってまいります。各関係機関とも連携し情報共有を行ってまいります。	
地域支援・地域連携		地域の行事や施設のイベント等の参加を行ってまいります。			職員の質の向上	看護師会、理学療法士会、児童指導員会を2~3回/月開催 外部研修・勉強会の参加 救命救急の研修の参加	
主な行事等		親子で参加できるクリスマス会の企画 ショッピングモールで開催のイベントに参加					